

森づくりの最前線

群馬森林管理署 松井田森林事務所 森林官 田中 直己



上毛三山の一つ妙義山

私が勤務している松井田森林事務所は、群馬県の西部に位置する安中市松井田町に所在し、安中市、富岡市の一部の国有林約5,300㍍を管理しています。

管内には赤城山、榛名山と共に上毛三山に数えられる妙義山があります。妙義山は、奇岩や怪石が林立する男性的な山ですが、登山コースには、初心者でも安心して歩けるコースから険しい岩場が続く熟練者向けのコースがあり、多くの登山者で賑わいをみせており、一帯を「妙義自然休養林」として管理しています。また、急勾配な山ですが、山ろくから中腹にかけてスギやヒノキが植栽されている箇所があり、先人達には感心させられます。

また、安中市松井田町と長野県軽井沢町との境には古くから難所で知られる碓氷峠があります。徒歩の時代は「旧中山道」、現在では「国道18号線」「碓氷バイパス」「上信越自動車道」と、次々に整備されてきました。

国有林内を通る旧中山道は、現在、遊歩道として利用されており、毎年5月には標高差1,000㍍を駆け上がる「安政遠足侍マラソン」が開催されます。

参加者の半数以上は仮装をしているというユニークな大会です。是非、参加されてみてはいかがでしょうか。



様々な衣装で走るランナー達

一方、長野県に通じていた信越本線は、横川から篠ノ井（長野県）駅間が廃線となっています。特に廃止となった旧線は、急勾配を登るためにアプト式ラックレールが採用され、橋梁や隧道にはレンガが使用されていました。めがね橋のたもとに立って上を見上げると、高さに驚くとともに、アーチ部分の精巧なレンガの組み合わせが圧巻です。周囲の国有林は、国道18号沿線と合わせ「碓氷峠風景林」として多くの観光客に親しまれています。廃止された施設が再利用され、自然と歴史を一度に体験できる限られたスポットとなっており、駐車場等の施設整備が進められていますが、国民視点に立った利活用となるよう努めていきたいと考えています。



レンガ造りの碓氷第三橋梁(通称めがね橋)

さらに管内には「小根山森林公園」があります。約100年前から外国や日本各地の樹木の試験研究が行われてきた森林で、現在は見本林となっています。混み合った林分は間伐等の手入れを実施するなど、訪れる人たちの癒しの場として整備を進めています。

当森林官になって2年目になりました。一つでも多くの現場に足を運び、そこに必要とされている施業を実施していけるよう努力していきたいです。



間伐により明るくなった108年生のヒノキ林